

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	301	学校名	仙台市立仙台青陵中等教育学校	校長名	田中 充
------	-----	-----	----------------	-----	------

1 取組のタイトル、テーマ

「think globally act locally」

2 取組の紹介

1) 講演会で知る「SDGsの今」

1 学年では、10 月 28 日（月）に基礎進路講演会として、日本キリバス協会の代表理事を講師に講演が行われました。「私たちが望む未来」のテーマの基、地球温暖化から世界各国で起きている災害等について考える内容となりました。「think globally act locally」をキーワードに、考えることは世界から行動は地域からと世界的課題を把握し、その解決のための一歩を地域から始める、世界と地域をつなぐ人材となっていきたいと強いメッセージが送られました。



2) 文化祭で発信した「世界のSDGs」

8 月 30～31 日に青陵三大祭の青陵祭が開催されました。8 月 30 日の校内発表では、オーストラリアから留学生が来校し、国際交流も行われました。留学生はアボリジニの伝統文化をステージで披露したり、本校吹奏楽部の演奏を聴いたり互いの文化を交流した一日となりました。次の日には、留学生に同行してきた海洋博士からオーストラリアにおける SDGs の取組などについて実際の写真を使っの講演をしていただきました。その後は生徒が留学生を連れて仙台市を案内するなど積極的に交際交流を行い、世界で解決する SDGs だからこそ多文化を尊重することが大切であることを実感していました。



3) 英語集中講座で考えを深めた「自分ができるSDGs」

2・3 学年では、1 月末と 2 月に仙台市内の外国人ゲストティーチャーを招いて以下の内容で、英語集中講座を実施しました。

- Learning about SDGs in other countries
外国人ゲストティーチャーの出身国（カナダ、アメリカ、ジャマイカ、韓国、ブラジル）の SDGs の問題点、取り組み、改善点、今後の課題等についての英語でのプレゼンテーションを聴講し、海外での SDGs についての学びを深める活動。
- Presentation performance “Sell Me This”
廃棄物削減のための再利用・再生アイデアをグループで考え、英語でプレゼンをして競うゲーム形式での活動。
- Debate (solving one of the SDG problems)
裕福な投資家から SDGs 問題を解決するための資金を得られるよう、アイデアを考える個人対抗のディベート活動。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

講演会等を通して世界で起きている環境問題の現実を知り、SDGs のすべては世界全体で取り組まなければならないと感じた生徒は、行事でも積極的に自分から国際交流を図り、多文化を尊重する態度が見られるようになりました。その後の学習にも SDGs を自分事にとらえて、何ができるのかと一人一人が考えを深める姿が見られました。